

議会のだより

議員発議！

「自然エネルギーへの転換及び 国民の安全を求める意見書」 国へ提出

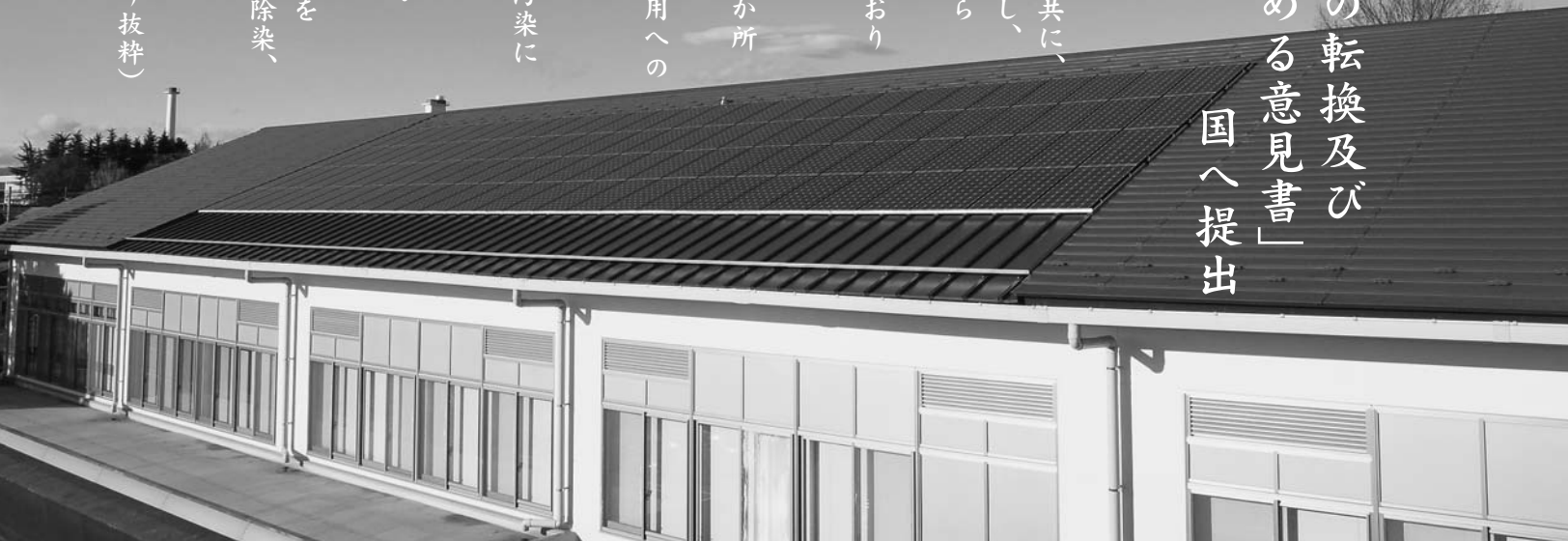
東日本大震災に伴い、政府は電力の安定供給を図ると共に、自然エネルギーへの転換を推進し、国民の生命と財産を守る立場から事故の早期収束、放射能被害の拡大をくい止めるため、次のとおり要望する。

1. 安全神話が崩壊した全国17か所54基の原発を総点検し、原発依存から自然エネルギー活用への転換を推進すること。

2. 「原発」事故による放射能汚染に関するすべての被害の補償は、電力会社の責任を明確にし、国が責任をもって解決すること。

3. 放射能汚染から国民の健康を守るため徹底した調査、迅速な除染、万全な健康管理の保障と体制を国の責任で行うこと。

(本文より抜粋)



自然エネルギー政策の更なる推進を（太陽光発電システム）

もくじ

- P 10 自然エネルギー政策意見書 国へ提出
- P 11 平成22年度の実施事業
緊急震災対策・安全安心メール・
南中新校舎工事・上水道事業 他
- P 12 一般質問
・愛される公園づくりの方策は
・「脱原発」で町民に安全・安心な町づくりを
- P 13 ・子ども・子育て新システムへの対応は
・地域活動支援センター授産支援の取り組みは
- P 14 決算審査
防犯灯LED化・循環バス・防災FM放送 他
国保税引下げ・小中学校耐震化・がん検診 他
- P 15 公園遊具・中小企業融資・ごみ焼却場 他
総括質疑
「町政転換の取り組みは」「町財政は健全か」

9月定例会

第4回定例会は、9月5日(月)から20日(火)までの16日間の日程で開催しました。

平成22年度一般会計並びに7つの特別会計の決算審査を3常任委員会で慎重審議しました。

平成23年度補正予算、また、議員発議1件、追加議案1件すべての議案を原案通り可決しました。

一般質問には、4人の議員が登壇し、活発な議論が行われました。

平成 22 年度の実施事業

数多くの事業の中から一部掲載（金額はすべて 22 年度の決算額）

東日本大震災対応関連事業

□臨時予算を要さなかった事業

- ・避難所の開設（町内 4 か所に設置 受け入れ総数 153 人）
- ・被災地支援（非常用備蓄食糧・飲料水で対応）

□臨時予算を要した事業

- ・浄配水場非常用自家発電機燃料購入…89 万 9,988 円
停電時の断水を防ぐために使われた経費です。これにより水道水は安定供給されました。
- ・県外被災者受け入れ体制整備…79 万 679 円
公民館南別館の応急改装などに要した費用です。

■総務企画

【安全安心メール事業】3 万 7,800 円

震災時にも役立つなど、少ない予算で大きな成果が期待できます。

【町ホームページ事業】218 万 0,745 円

全面リニューアルとタイムリーな情報提供により、アクセス件数も大幅に増加しました。

【国際交流事業】114 万円

低予算で計画事業が継続実施できるのは、長期事業ならではの。

安全安心メール登録方法

大泉町ホームページ

いざというとき（左上）
安全・安心メール

【大泉町安全・安心メール】の登録・削除

メールアドレス・名前（任意）を入力でOK



着々と進む教育環境整備（南中新校舎）

■福祉文教

【南中学校校舎改築事業】2 億 6,904 万 5,445 円

新校舎は平成 23 年中に完成予定です。

【がん検診事業】3,542 万 4,991 円

着実に成果をあげています。

【文化財保護事業】1,119 万 1,640 円

事業費の一部で、中平四郎^{なかへいしろう}の彫刻と長野大原^{ながのたいげん}の絵画を購入しました。

■都市環境

【住民基本台帳ネットワーク事業】716 万 9,963 円

この事業整備により、外国人を含めた人口動態などがはっきりします。

【道路維持事業】5,775 万 5,408 円

安全で快適な町道の維持・整備を推進しています。

【上水道事業】6 億 1,333 万 5,923 円

町の水道水からは放射性物質は検出されていません。安心です。



誰でも安心して飲める水道水

一般質問

Q 愛される公園づくりの方策は

A 協働で進めるしくみづくりを検討します

河田敏勝 議員

いずみ緑道など、

樹木の高木化により、陽の当たらない密林化した公園が見受けられます。防犯上や交通安全の面で問題があり、樹木の生育にも影響し、維持管理経費も増大します。間引きなどの抜本的な対策を望みます。

また、街区公園については、場所によって雑草対策などの維持管理面で温度差が見られます。地域の身近な公園を、地域の人たちで考え、地域の人たちの手によって、地域の皆さんに愛される公園づくりのシステム構築を求めます。



明るい公園づくりを（いずみ緑道）

町長

緑豊かな空間を維持しつつ、より安全で親しまれる

公園にしていくためには、密植している樹木の生育にも考慮した管理が必要であり、間引きなどを含め前向きに検討します。

また、安全でより多くの皆さんに親しまれ利用される公園にするために、地域の皆さんと行政が力を合わせ、協働で公園管理を進める働きかけやしくみづくりを検討していきます。

Q 「脱原発」で町民に安全・安心な町づくりを

A 住みたい町づくりに全力をあげます

渡邊 明 議員

(1) 原発の安全神話が完全に崩壊しました。町長の「脱原発」や安全安心な町づくりに対する考えは

(2) 厳しい財政状況の中での財源確保策と町の活性化対策は

町長

(1) 原子力発電に頼らないエネルギー施策、「原発ゼロ」に向けて国へ働きかけます。また、住宅用太陽光発電の普及促進や大

規模太陽光発電施設（メガソーラー）の導入を検討するとともに、今後の放射線量の計測は定期的に行い町民に知らせます。平和に対する意識高揚を図る写真展・平和展も今後検討します

(2) 税の収納率向上と土地などの町有財産の売却を行い財源確保に努めます。また、「住宅リフォーム助成制度」の調査検討をはじめ、住みたい町づくりに全力をあげます



安心して住める町に（放射線量の測定）

金子光国 議員

Q 子ども・子育て新システムへの対応は

A できるだけ力を注ぎたい

群馬県で「輝ける子ども
の命と笑顔を切り開こう」
をスローガンに、「第43回全
国保育団体合同研究会」が
開かれました。この中で、
国の子ども・子育て新シス
テム検討会議において、「平
成23年に必要な法律改正を

行い、平成25年に新制度を
実施する方針が決定され
た」との報告がありました。
これを受けて、公的保育制
度を解体し保育を市場化す
る新システムがメインテー
マとなり、急を要する運動
の提起がありました。この

ままでは実施され
てしまいますが、
町としてどのよう
に対応しますか。

町長

新システムが執
行されたあかつき
に制度的矛盾が露
出することは多々
あります。行政と
してそぐわない制
度であれば、反対
することにやぶさ
かではありませ
ん。できるだけ力
を注ぎたいと考
えています。



子育て環境の充実を（北保育園）

Q 授産支援の取り組みは

A 今後調査研究をしていきます

久保田一郎 議員

地域活動支援セン
ターでは、現在、請負
作業、アルミ缶回収、
野菜づくり、お菓子づ
くりなどの授産活動に
一生懸命取り組んでい
ます。

しかし、景気悪化な
どにより請負作業の仕
事の確保は、大変厳し
い状況にあるものと思
われます。

食用廃油を活用した
固形石けんや粉石けん
づくりなどの新たな授
産支援について、前向
きに検討する考えはあ
りますか。

町長

地域活動支援センターの
事業は、景気低迷の影響を
受け、企業からの受注が減
少しています。

町がプラントを用意し
て、廃油を利用したりサイ



いろいろな授産支援を（地域活動支援センター）

クル製品の製造販売を行う
ことについては、廃油処理
用の独自の作業棟新設や、
劇薬を扱うため、しっかり
した管理体制、また、製造
過程も含めた安全管理要員
の整備など、いくつかの課
題もありますので、今後調
査研究をしていきたいと思
います。

平成22年度

私たちの税金は どう使われたの？

おもな
決算調査
内容

総務企画常任委員会

Q 平成22年度の機構改革により、グループ制から部制に移行して、組織の強化ができましたか。

A 専門性を持った組織で管理体制が強化され、目標に対してはおおむね達成しています。

Q 防犯灯の全町LED化には、初期投資が約1億円かかりますが、節電の観点から検討はしましたか。

A 太田市を調査しました。が、本町では財政的に難しい状況のようです。投資効果も考え、今後調査研究します。

Q 今回の東日本大震災で自主防災組織の活用や、町民への情報伝達面はどう対応しましたか。

A 自主防災組織の活用については、今後初動マニュアルを策定し、即応体制を整えたい。町民への情報伝達は、町広報車や公民館、電子メールを通じて行いましたが、今後は防災無線も調査していきたい。



LED化で節電を（西小泉商店街）

Q 町内循環バスは乗車人数の少なさが目立ちますが、デマンド方式バスなど、利用者増を図る対策を検討しましたか。

A デマンド方式バスがどの程度効果があるか、現在研究をしています。

Q FM放送事業はまだまだ聴取率が低い現状ですが、今回の大震災にラジオが役にたったという声も聞きます。今後の取り組みは。

A FM局とは災害協定を結んでおり、聴取率向上に向けたいろいろな努力をしています。

福祉文教常任委員会

Q 国民健康保険税特別会計は3億円以上の黒字となっておりますが、国民健康保険税の引き下げは検討しましたか。

A 今後の推移を見極め、平成26年度には国民健康保険税全体の見直し・検討を行いたい。

Q 町内の保育園で病児病後児保育を実施しているのは1か所だけですが、他の保育園などでも行えますか。

A どの保育園などにおいても看護師が2人いれば、病児病後児保育は行えます。

Q 太田市平日夜間救急診療所事業の利用状況や、同事業への負担金はどうなっていますか。

A 比較的軽症な急病患者対象の事業部門では、総利用者2481人のうち町民の利用者は318人です。町の負担金は按分率で、総事業費の12・82%、147万7000円です。

Q 町立小中学校の校舎などの耐震化工事は、どの程度進んでいますか。

A 現在の耐震化率は全体の約65%ですが、南中学校が完成すると約70%になります。平成27年度までには完了する計画です。

Q がん検診受診者が年々増加し、町民の主要死因も昨年度は1位から2位に下がりましたが、肺がん検診受診者だけは減少傾向です。今後の対応策は。

A 肺がん検診は単独の検診ではなく、結核検診にセットされています。今後、手続き方法の改善やPR方法などを検討します。



耐震対策万全の校舎（南中新校舎）

都市環境常任委員会

総括質疑

Q 古くなって危険な木製公園遊具への対応は。

A 木製遊具20基を撤去し、金属製遊具を9基設置しました。平成23年度未までには全て撤去の予定です。

Q 町内中小企業の経営状況や、町の制度融資利用状況は。

A 輸出関連企業は円高などで厳しい状況にあります。非輸出関連企業は、ほぼ震災前の状況に戻っていますが、債務の返済は厳しい状況が見られます。融資利用状況は、小口資金が71件、中小企業経営安定資金が31件です。

Q 歩道バリアフリー化事業の進捗状況は。

A 平成22年度は31か所で工事が終了しました。町を3分割し、公共性の高い地区からすすめています。地区内900か所のうち39・8%が終了しました。

Q 大泉町外二町環境衛生施設組合のごみ焼却場の耐用年数は何年までですか。建て替えは検討していますか。

A 耐用年数は平成29年までです。建て替えについては関係自治体と検討中です。

Q 渡邊 明議員

町長は施政方針で「転換の時代」を強く感じたとしていますが、予算執行に当たり、町政の転換にどう取り組みましたか。

A 齊藤町長

初めての予算編成年度でもあり、厳しい財政の中で重要施策中心に心ある予算執行ができたものと確信しています。

Q 村山博茂議員

「3年連続して実質単年度収支が赤字であることは問題である」と感じています。単年度の歳入の範囲内でやりくり・工夫するべきと考えていますが、見解をお聞きます。

A 築比地財務部長

施策実行に対し、見直しながら停滞なく実施しなければなりません。単年度ごとには財政調整基金の切り崩しも必要と思います。

12月定例会

□日時 12月13日(火)

午前10時～(予定)

※皆さんの傍聴をお待ちしています。どなたでも気軽に傍聴できます。詳しくは、議会事務局へ。



人にやさしいバリアフリーの町づくり



昔は確か「かくらん」って言っていた。今は「熱中症」って言うんだって。

連日猛暑日の続く中、運動会に向けた練習中に、熱中症で倒れ病院に搬送される児童生徒のニュースが何度となく報じられた。昔では考えられないことが今起こっている。

地震、津波、台風などの自然災害で、大きな被害が発生している。これは世界経済の発展がもたらした、負の変化に違いない。

昔から「備えあれば憂いなし」と言う。日頃から非常時に対する備えを怠らないようにしたい。災難は忘れた頃にやってくるのだから。

(編集委員 新井典夫)

■議会だより文責

議長 安田博敏

【編集委員】

委員長 新井典夫

副委員長 浅野正己

委員 田邊信雄

委員 山口将